

ひまわり

8月号 神戸市立長田中学校

<https://www.kobe-c.ed.jp/ngt-ms/>

『一芸は道に通ずる』

生徒指導担当 肥後 匠

この時期になるといつも思い出すのは、私が中学生時代の総体です。

阪神淡路大震災があった年、私は中学校2年生でした。学校が避難所となり、練習もままならない状況で3年生最後の市総体を迎えました。試合会場に到着するなり、1番被害の大きかった長田区の学校の選手と鉢合わせ、久しぶりに見たライバル達の笑顔に大丈夫だったんだと安堵しました。しかし、被害状況や現在の暮らしぶりなどを聞いていると、私の地域なんて本当に被害の少なかった地域なんだと改めて感じました。そんな状況の中、市総体が始まりました。

私自身、この市総体にかける思いは強く、団体・個人ともに優勝し、県総体でも優勝を目指し、毎日必死になりながら、この環境下で出来る最高の練習に励んできました。自信満々で迎えた市総体。団体戦は出場した5人で力を合わせ、決勝戦全員一本勝ちという最高の勝ち方で優勝を決めました。翌日の個人戦では、準決勝戦までは危なげなく勝ち進み、休憩をはさんで迎えた準決勝。この試合中に大きなけがをしてしまい、完敗。柔道の神様に裏切られた気持ちでいっぱいになりました。「最後の最後にこんなけがをしてしまい、県総体にも出られないなんて。もう2度と柔道なんかやらん。」と心に誓ったものです。県総体には団体戦だけに出場を絞り、医者に無理を言って出場しました。試合当日の早朝から痛み止めの注射を打ち、テーピングで怪我した部位を固定してもらい何とか出場しましたが、準々決勝敗退。ここで私の総体は終わりました…。

先日、神戸市中学校総合体育大会に向けた27回生の総体壮行会が行われました。どの部も3年間の思いをこめた立派な決意表明でした。最後まで自分たちの力を出し切ろう、3年間支えてくれた周りの人の期待に応えようとする姿が見られました。それと同時に、20数年前の自分のことを思い出し、感傷に浸っていました。

“一芸は道に通ずる”

一つのことを極めた人は、他のどんな分野においてもよい方法を見いだすことを表現したことわざです。

「学問、スポーツ、芸術、芸能、どんなことでもその道を極める過程では、誰もが何度も壁にぶつかり、挫折も味わうでしょう。ですが、道を極めるにはそれでもあきらめずに努力、工夫をして前に進んでいくしかありません。そんななかでの経験、身に付けた能力や知恵は、新たに何かに挑戦する時、たとえそれが全く異なった分野だろうが、必ず役に立つものだ。」という意味になります。

ここまでの人生、ほとんど柔道ばかりでした。柔道のおかげで今の私があります。

一つのことをとことん追求していく人生も楽しいものです。

表彰の記録

○第1回実用英語技能検定

- ・4級合格
- ・5級合格

○第63回 神戸市総合体育大会 柔道競技大会

- ・男子団体の部 優勝
- ・女子団体の部 準優勝
- ・男子-73kg級 優勝
- ・男子-55kg級 準優勝
- ・男子-90kg級 準優勝
- ・女子-57kg級 優勝

○令和5年度1学期全校読書会

- ・読書感想文最優秀賞
- ・読書感想画最優秀賞